

事務事業事後評価シート[平成28年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	保健福祉部健康増進課		■担当係	母子保健係
■評価事業名称	保健推進員協議会運営費補助金			
■事業開始年度	平成3年度			
■評価事業コード	040200 - 037	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり		
	■基本施策	03 健康づくりの推進と地域医療の充実		
	■施策	03 市民の健康づくりの推進		
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)	■政策・業務区分	政策	
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称	北上市健康づくりプラン			
■事業の目的と概要	保健活動の円滑な推進を図る。会議開催(総会1回 委員会6回)、保健推進員だより編集委員会4回、保健推進員だより発行回数2回			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成28年度事業計画	平成28年度事業量実績
01	保健推進員協議会運営費補助金	市民、保健推進員協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・会議回数 総会 1回 委員会 6回 ・推進だより編集委員会 4回 ・推進員だより発行 2回 	<ul style="list-style-type: none"> ・会議回数 総会 1回 委員会 6回 ・推進員だより編集委員会 4回 ・推進員だより発行 2回

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	備考
直接事業費	199	201	201	201	
人件費	153	1,071	894	976	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	352	1,272	1,095	1,177	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	指標の説明
01	委員会開催回数	6回	6回	6回	6回	保健推進員協議会の運営を円滑に進めるために開催。
02	保健推進員協議会総会参加者数	208人	195人	216人	205人	
03	保健推進員になり、役に立ったと思う人の割合	77.5%	83.8%	72.0%	80.5%	役に立った(よかった)と思う保健推進員数÷アンケート提出者数×100

事務事業事後評価シート[平成28年度事業]

04	委員会開催1回当たりコスト	58,666円	212,000	182,500円	196,166円	フルコスト/委員会開催数
05	参加者1人当たりコスト	1,692円	6,523	5,069円	5,741円	フルコスト/総会参加者数

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

総会や委員会は計画通り実施しているが、総会の参加者が減少している。

問題点・課題等

任期2年で半数以上が入れ替わるため、改選期にも円滑が事業運営ができるように手厚いサポートが必要である。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

保健推進員協議会の運営が安定化されることで、市民の健康づくりの基盤へとつながるため大切な事業である。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了